

ナンバリング			授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M211L103			生理学の基礎 (Physiology)					心身の機構							
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態				
必修		1	1	医学部看護学 科	前期	火1	日本語		英語		オムニバス				
担当教員	氏名 花田礼子, 黒川竜紀, 寺西仁志, 桑慎一郎, 鹿野健史朗 (医学部生理学), 梅田涼平(先進医療学科) E-mail physiol@oita-u.ac.jp 内線 5642														
授業の概要	看護学は、身体の正常な仕組みと機能をしっかり理解した上で、疾患に対する病態知識・認識を持ち、患者と向き合うことが必須である。 本科目では、生体における生命現象と恒常性維持のメカニズムを習得し、ヒトの身体機能について理解を深める。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	生体における正常な動物性生理機能ならびに植物性生理機能を理解する								○		○			○	
目標2	恒常性を維持するための情報伝達機構を理解する								○		○			○	
目標3	生体の神経系、運動系、感覚系の生理機能に基づいて各領域の疾患・病態を理解し、看護実践を展開することができる								○		○			○	
目標4	人体を形成する構造と物質の基本的知識に基づいた機能連関の仕組みを理解する。								○		○			○	
目標5	生体の内部環境維持にかかわる様々な機能を理解する。								○		○			○	
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									5		3			2	
授業の内容															
1	生理学総論、細胞の伝導と興奮														
2	神経系と運動機能、神経伝達物質														
3	自律神経系														
4	本能行動														
5	連合機能														
6	栄養の消化と吸収														
7	呼吸と血液のはたらき														
8	血液の循環とその調節														
9	体液の調節と尿の生成														
10	内分泌系・生殖器官系														
11	アクティブ・ラーニング(ビデオを用いた症例検討、症例に基づく討論)														
12	アクティブ・ラーニング(ビデオを用いた症例検討、症例に基づく討論)														
13	アクティブ・ラーニング(ビデオを用いた症例検討、症例に基づく討論)														
14	アクティブ・ラーニング(ビデオを用いた症例検討、症例に基づく討論)														
15	まとめ														
ラーニング	A:知識の定着・確認	○	講義内容について、翌講義日にグループにより概要を発表する					工 そ 夫 の 他 の	・講義内容の理解を深めるため、アウトプット重視とする。 ・各講義について学習した内容をまとめ、翌講義時に口頭発表させる。 ・動画や症例を用い、関与する生理機能、病態機能の理解を深める。						
	B:意見の表現・交換	○	グループによる発表・発問												
	C:応用志向	○	各自によるレポート作成ならびに発表												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		・参考書を用いて次回学習内容を一読する(5h)												
	事後学修		・各講義項目から関連した書物や興味のある書物を読む(5h) ・各講義内容に関する概要をグループ毎に復習し、発表形式にまとめる(5h)												
	想定時間合計		15												
教科書	系統看護学講座 解剖生理学(第10版) 坂井建雄 医学書院 2018年 ISBN-10) 4260031716														
参考書	はじめの一步のイラスト生理学 (改訂第2版) 照井直人 羊土社 2011年 ISBN) 978-4-7581-2029-6 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能(改訂第2版) 志村二三夫 羊土社 2014年 ISBN) 978-4-7581-0876-8														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	筆記試験	80%	○	○	○	○	○					
	口頭発表	10%	○	○	○	○	○					
	レポート	10%	○	○	○							
注意事項												
備考	アクティブ・ラーニングのレポート提出は必須。											
リンク	URL https://physiology.wp.med.oita-u.ac.jp/											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	(医師) 花田 礼子、臨床工学技師) 梅田涼平											
実務経験を いかした教 育内容	臨床での経験を活かした生理学講義、アクティブ・ラーニングをおこなう。											